

令和5年度
看護力向上支援事業報告
認知症看護認定看護師の支援を受けて

2023年12月13日(水)
医療法人社団恵周会白河病院
小磯 由美子

当院の問題点と目標

<問題点>

- ・認知症患者に対する知識不足により対応力にばらつきがある。
- ・認知症研修修了者からの伝達が出来ていない。
- ・行動制限を減らしたいが、適切なアセスメントが不足している。

<目標>

- ・スタッフが認知症ケアの基本、対応方法、身体拘束の弊害、倫理について理解することができる。
- ・認知症とせん妄の違いがわかりアセスメントできる。
- ・認知症ケア加算を算定する仕組み作りができる。

支援内容

	7/26(水)	8/30(水)	9/27(水)	10/25(水)	11/14(火)
13:00 ～ 17:00	<ul style="list-style-type: none">・向上支援事業 目標・支援 内容打合せ・病棟見学・勉強会(30分)・次回の打ち合 わせ	<ul style="list-style-type: none">・打ち合わせ・病棟ラウンド A病棟・勉強会(30分)・認知症ケア加算 についての説明を 頂く・せん妄パンフレッ ト作製についての アドバイスを頂く・次回の打ち合 わせ	<ul style="list-style-type: none">・打ち合わせ・病棟ラウンド B病棟・勉強会(60分)・次回の打ち合 わせ	<ul style="list-style-type: none">・打ち合わせ・ディスカッション 各病棟認知症ケ アチームメン バー参加・病棟ラウンド C病棟・勉強会(30分)・次回打ち合 わせ	<ul style="list-style-type: none">・向上支援事業 反省会・認知症ケアチー ムメンバー参加 による認知症患者 対応の指導後の 経過報告・勉強会(30分)・事例検討会に 向けた打ち合 わせ

術後せん妄になりそう
な患者さんへの対応
が分からない

行動制限を外す
タイミングが分からない

昼夜逆転している患者さ
んへの対応が分からない

「帰りたい」とソワソワし
ている患者さんへの対
応が分からない



病棟ラウンドの実際

対象患者:70才代 透析3回/週 意識障害で入院。下肢筋力低下あり、薬剤の副作用からくる傾眠であった。薬剤調整により意識障害が改善したが、ソワソワして点滴自己抜去があったり、「ヘビがいるからなんとかしてくれ」と訴える。ミトンを使用中。同室者が昼夜問わず声出しあり。夜間は安定した入眠時間が確保出来ていない状況。

→認定看護師からの指導

- ・入室時ノックを行い自分の名前を名乗る。時間・日付・場所を伝える。
- ・患者さんを上から見下ろさず、患者さんと同じ目線の高さで話をする。会話はゆっくりはっきりと、患者さんの訴えはゆっくり待ち傾聴する。
- ・幻視・幻覚のある患者さんの話しを否定せず、訴えていることに対応をする。
- ・同室者の声出しで不眠を招きせん妄を助長している可能性がある為、可能ならベッド環境を整えることを提案される。

病棟ラウンド後の経過

- ・ナースステーションから離れた病室へ移動となったため、まめな訪室と声かけを行った。
- ・非透析日は昼食時、車椅子で過ごすように促した。
- ・同室者との会話が増え穏やかな表情になった。
- ・ソワソワした様子がなく夜間眠れるようになった。
- ・患者さんの訴えを否定せず、対応をしていた。「子豚がいる」に対して「いない」と否定せず「追い払うね」と払う動作をし、患者さんは「良かった」と安心された様子だった。
- ・行動制限をしている患者さんの解除に向けたカンファレンスや相談が増えた。
- ・カンファレンスの時間を改めて確保することは困難であったが、申し送りの時間で2～3人で行動制限解除に向けた話し合いをするようになった。

認知症とせん妄についての区別が分かり、せん妄は予防が大切だと学んだ。

行動制限の開始・解除時は看護師一人で判断せずカンファレンスを実施して検討する様になった。

アセスメント方法、ケア対応の方法が分かった。

せん妄の説明パンフレットを作成し入院時に患者・家族へ配布出来るようになった。



認知症ケア加算の算定を行う為の書類の作成方法や評価のタイミング、手順書の作成、スタッフの伝達方法がわかった。

今後の課題

・認知症患者さんの訴えや行動にはどんな背景・気持ちがあるのかアセスメントしカンファレンスで情報の共有、ケアを実施し安心できる環境を作っていく。

・行動制限記録、看護記録は認知症患者さんの行動を分析するひとつの材料であるため口頭だけの引き継ぎではなくしっかり記録に残すようにしていく。

・認知症ケア加算を算定するための仕組み作りを継続していく。